

令和2年3月25日

保護者の皆様

調布市教育委員会
調布市立調布中学校
校長 平岡 盛仁

春季休業期間中の対応及び新年度の教育活動の再開について

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策として臨時休校中の取組にご尽力いただきありがとうございます。

さて、3月19日に新型コロナウイルス感染症対策についての専門家会議において、「感染状況が確認されていない地域では、学校における様々な活動や、屋外でのスポーツやスポーツ観戦、文化・芸術施設の利用などを、適切にそれらのリスクを判断した上で、感染拡大のリスクの低い活動から実施してください」との見解が示されました。

これを受けて、調布市教育委員会から、「3月23日現在において、『市内在住者及び教職員による感染者が確認されていない』ことから、感染症の拡大防止対策をとり、4月1日以降の教育活動を順次再開する予定」との方針が示されました。

ただし、従来の長期休業とは異なり、緊急対応として長期に渡った臨時休校としたことから、春季休業期間中であっても生徒の実態を丁寧に把握し、新年度の教職員に確実に引き継ぎたいと考えています。そこで、本校におきましては、下記の方針に基づいた取組を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1 春季休業期間等における対応について

(1) 生徒の実態把握について

3月25日から30日までの期間を、児童・生徒の心身の状態を保護者から把握する期間とします。

具体的には、修了式後の学級活動において、担任から臨時休校中の生徒の様子を聞き取ります。その際、普段の様子と異なったり、修了式に欠席したりしている生徒については、保護者に電話で連絡し、臨時休校中の生徒の様子について聞き取りを行います。また、必要に応じて面談を実施します。

(2) 部活動について

- ① 春季休業中（4月5日まで）の部活動については、中止とします。
- ② 春季休業中の部活動のミーティングについては、必要に応じて短時間（1時間をめど）で1回程度行うことは許可します。
ミーティングの内容
・春季休業中の自主練習の指示
・新入生受け入れ準備の打ち合わせ
・卒業生との会合
など
- ③ ミーティングを行う場合には、マスク着用、咳エチケットの徹底や手洗いうがいをさせるなど、感染拡大防止に十分気を配ります。
- ④ ミーティングを行う部活動が、同日同時刻にならないように、各部の顧問で調整します。

2 新年度の教育活動の再開について

(1) 入学式及び始業式の実施について

【入学式について】

- ① 日 時 令和2年4月7日(火) 9時45分 開式
- ② 保護者 受付8時45分～9時30分
- ③ 新入生 受付8時30分～8時50分
- ④ 参加人数を縮小します
 - ・来賓の式典出席はありません。
 - ・生徒の参加は、新入生と、「新入生を迎える言葉」を述べる在校生代表生徒1名とします。
 - ・新入生の保護者の参加は、「原則2名以内」とします。
- ⑤ 式典の時間短縮を行います
 - ・教育委員会による告辞や来賓による祝辞を割愛します。
- ⑥ 式に参列する場合の感染リスクへの対応
 - ・発熱等の症状がある方や小さなお子様、持病のあるご高齢の方などの参列については控えていただくことをお願いします。
 - ・マスクを着用し、咳エチケットの徹底のご協力をお願いします。
 - ・アルコール消毒液を会場入口に設置しますので、確実にアルコール消毒を行い会場に入場してください。

【始業式及び当日の予定について】

始業式は予定通り体育館で行いますが、生徒一人一人の間隔を十分に開け、換気に注意をして行います。その際、生徒はマスク着用をお願いします。

始業式後、教室に戻り学級活動を行います。下校時刻は10時30分の予定です。

(2) 始業式以降の教育活動について

新年度は、進学・進級に伴い学校体制や学級が変わることから期待感が膨らむ一方で、長期休業の影響による不安定な状態が生じる生徒がいることも予想されます。そこで、生徒の状況を丁寧に把握するために、面談を実施します。また、学校行事等の実施については、十分な感染防止対策を講じて教育活動を進めていきます。

① 生徒の心のケアを軸とした学年・学級経営を行います。

臨時休校中及び新年度への生活の不安等によって、登校しぶりになったり、集団生活への不適應を起こしたりと様々な形で表出される場合があります。それらの行動の背景を十分に理解し、学年・学級経営を行っていきます。

② 担任と生徒との面談を実施します。

4月の早い段階に、担任と生徒との面談を、昼休みや放課後の時間を活用して個別や集団での面談を実施します。また、面談の結果、必要に応じてSCにつなげていきます。さらに、学級指導の時間を活用し、一人一人の生徒の心情等を把握します。

③ 感染症拡大リスクの条件を回避していきます。

国内における警戒レベルが下がるまでは、大規模イベントに類する活動は、「換気の悪い密閉空間」「人の密集」「近距離での会話や発声」の三つの感染症拡大リスクの条件が同時に重なることを回避した上で、順次実施していきます。

3 その他

生徒及び保護者等並びに学校関係者に感染者が発生した場合は、その時点で対応が変わることがありますのでご了承ください。